

鳥獣の侵入を防ぐために柵を整備したい！

対象とする獣種に応じた侵入防止柵を選択するとともに、施工する場所の地形（傾斜及び高低）を踏まえ、柵のつなぎ目や地面との間に隙間が発生しないようにすることが重要です。また、施工後は耐用年数の期間にわたって機能が発揮されるよう維持・管理を続けることが必要です。

(1) 支援内容

侵入防止柵の整備は「新規整備」と「再編整備」が可能です。その施工方法は「直営施工」か「請負施工」の2パターンあります。なお、侵入防止柵を整備する場合は、既存の捕獲機材（わな）等を一体的に設置することが要件となります。

－新規整備の上限単価－

(2) 補助率

- 直営施工の場合（資材費のみ支援対象）

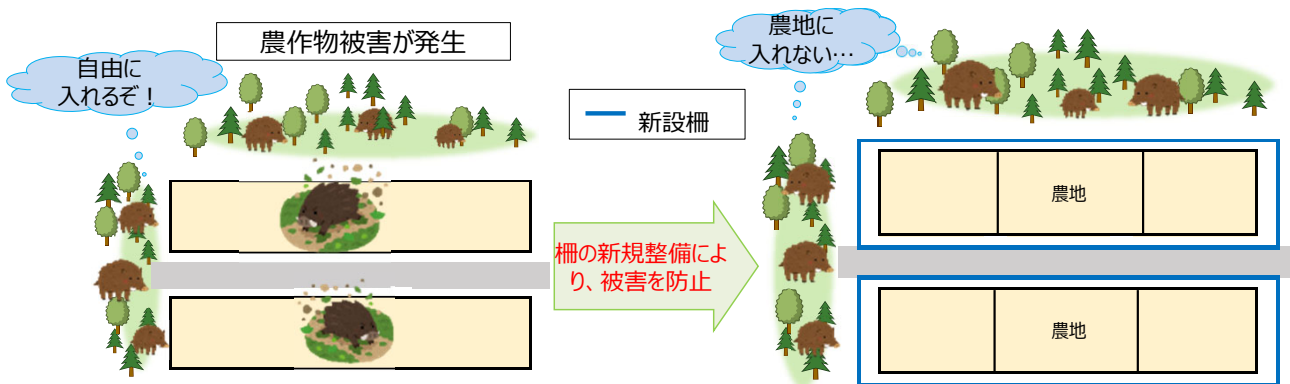
定額

- 請負施工の場合

事業総額の1/2以内等

	電気柵 (1段あたり)	ネット柵	金網柵 上段：イノシシ用 下段：シカ用	ワイヤーメッシュ柵 上段：イノシシ用 下段：シカ用
直営	148円/m	1,090円/m	1,970円/m 2,790円/m	1,290円/m 1,950円/m
請負	391円/m	2,600円/m	5,380円/m 7,620円/m	3,000円/m 4,530円/m

【侵入防止柵新規整備】



【捕獲機材の一体的な整備】



ICTを活用した捕獲機材等の導入

既存の柵と併せて別の農地にも整備したい！

(1) 支援内容

生息域の変化により新たな被害が発生した場合に、既存の侵入防止柵を一部移設して有効利用しつつ、新たな柵を追加するなどの再編整備が支援します。

－移設部分の上限単価－

	電気柵 (1段あたり)	ネット柵	金網柵 上段：イソ用 下段：シカ用	ワイヤーメッシュ柵 上段：イソ用 下段：シカ用
直営	25円/m	192円/m	296円/m 430円/m	192円/m 286円/m
請負	225円/m	1,612円/m	2,726円/m 3,710円/m	1,612円/m 2,426円/m

(2) 補助率

・直営施工の場合（資材費のみ支援対象）

定額

・請負施工の場合

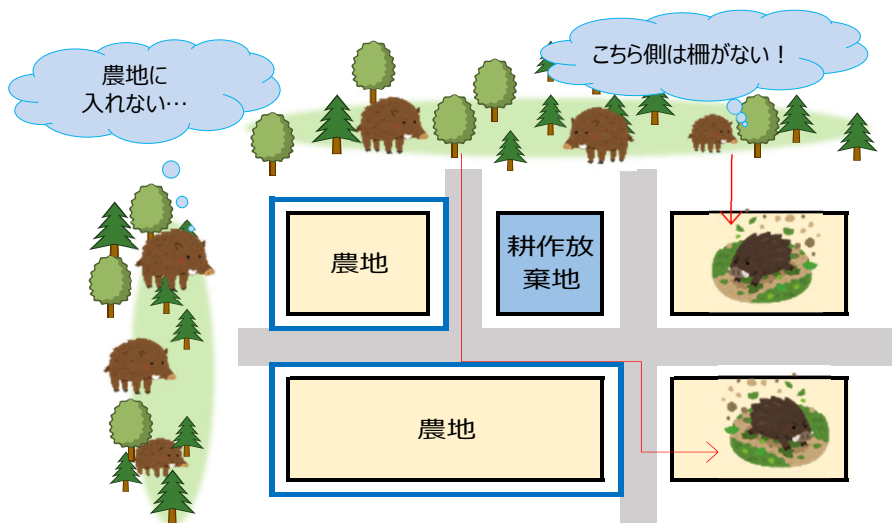
事業総額の1/2以内等

注1. 再編整備を実施する柵の総延長（移設する延長）に対する上限単価。資材費は、主に補修に要するものが対象。

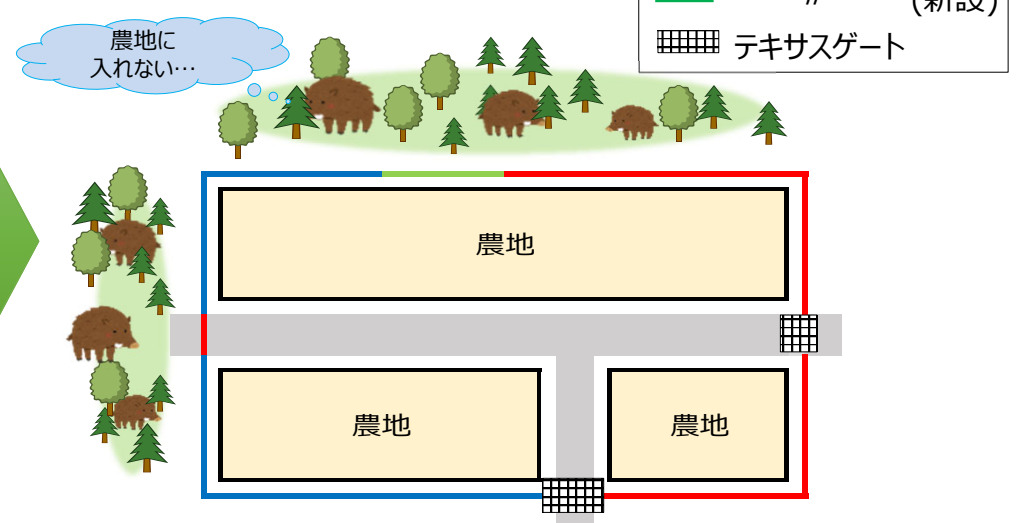
注2. 新設部分の支援単価は、新規整備をした場合の上限単価を適用（7P）。

【侵入防止柵再編整備】

＜整備前＞
生息域の変化の発生



＜整備後＞
生息域の変化に対応

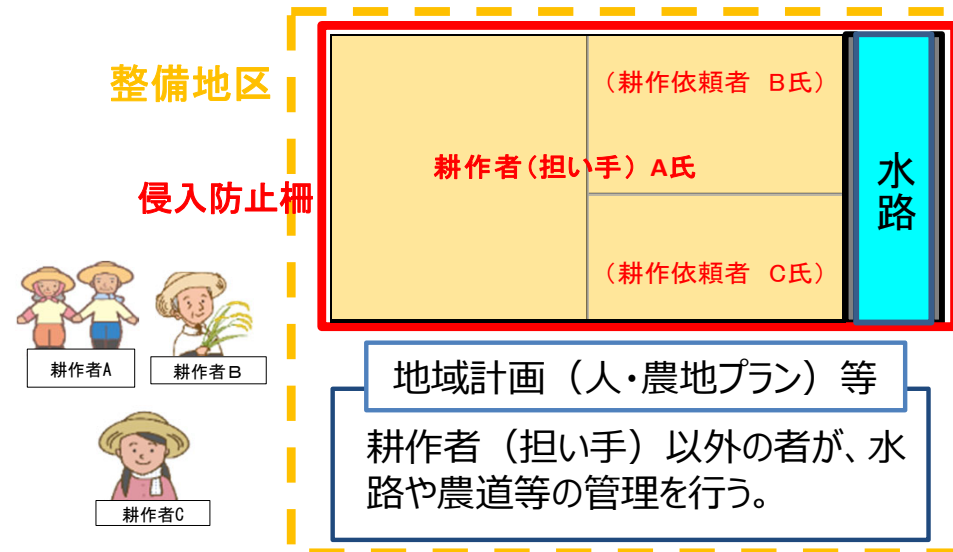


侵入防止柵等の施設整備を行う際に要件はあるのか？

1. 侵入防止柵整備の採択要件は「受益戸数が3戸以上」。
2. 受益戸数は、「耕作者」の他、「地域計画（人・農地プラン）等に基づいて、水路や農道の管理を行っている者」や畜産農家についても受益農家となり得る（受益農家は、柵設置農家だけではない。）。
3. 地形等の理由から連続しない柵でも、整備地区全体として受益戸数3戸以上であれば整備可能。
4. なお、1法人であっても、対象農地の耕作者のほか、出し手や、水路や農道等の管理に携わる農家も含めて3戸以上であれば対象となる。

【事例1 農地集積をした場合】

3者の耕作者が、農地集積により担い手であるA氏1名となる場合に、例えば、A氏以外の2名が地域計画（人農地プラン）等に基づいて、水路や農道等の管理を行うことにより、受益農家となり得る場合は、「受益戸数が3戸以上」の採択要件を満たす。



【事例2 飛び地等の場合】

- ・耕作者2名+畜産農家1名であることから、「受益戸数が3戸以上」の採択要件を満たす。
- ・畜産農家も受益農家となり得る。
- ・地区全体で受益戸数3戸以上となれば、連続しない柵でも整備可能。

